

防犯アドバイス

犯罪から身を守るためには、近所の連帯を深めて、地域として防犯対策に心がけることが重要。

インターネットトラブル

- フィッシングメール(詐欺)に注意。個人情報をごまかしとろうとするメールを受け取れば送信アドレスを確認し本文内のボタンやリンクを絶対に押さないでください。
- インターネットバンキングでのトラブル
- 仮想通貨交換業者等への不正アクセス等による不正送信事案
- コンピュータウイルスを利用した手口
- LINEのセキュリティ設定を確認してください。(例：電話帳を友達リストにすることは危険です)

特殊詐欺の被害防止

警察庁のデータを見ると、平成30年中の特殊詐欺による被害は、警察や防犯協会等の被害防止対策などにより減少傾向にあります。しかし、被害金額は高齢者を中心に依然として約356億8000万円という高額な被害が生じており、厳重な注意が必要です。

- 「キャッシュカードを預かります」は詐欺！
- 「電子マネーを買って、ID(カード番号)を教える」は詐欺！
- 「お金が戻るからATM(銀行・コンビニ)に行け」は詐欺！

子どもの犯罪被害防止

子どもが被害者になる犯罪が後を絶ちません。被害防止のため、地域の皆さんが、自治体、警察等と連携してパトロール・見守り隊の取組を行うことが必要です。

- 誘拐・連れ去り
- 子ども110番の家
不審者から逃げ込める家を日頃に確認
- 登下校の安全
神路っ子見守り隊、散歩時の見守りなどの協力
- 児童虐待
虐待かな？と思ったら児童相談所に通報(電話:189)
- 子どもとスマートフォン

インターネットの危険性を教える

- 薬物乱用防止

女性の犯罪被害防止

女性が被害者となる犯罪の認知件数は、盗撮、痴漢、ストーカー、DVなど依然として高水準で推移しています。「誰もが狙われる」可能性があることを意識しましょう。

- 外出する際

なるべく人通りの多い、明るい道を通る

携帯電話などを操作しながらの「ながら歩き」はしない

時々後ろを振り返る

常に防犯ブザーを持ち歩き、いざというときはすぐに鳴らす

身の危険を感じたらすぐに110番通報する

- 痴漢防止

夜道、電車・バス内、エレベータ内、自宅

- ストーカー被害防止

- DV(ドメスティックバイオレンス：家庭内暴力)

女性相談センター(電話:06-6949-6022)

侵入犯罪の防止

侵入盗の認知件数は、平成14年をピークに減少傾向にあります。しかしながら、平成30年は6万2,745件中の3万1,506件が住宅対象侵入窃盗の件数であり、一日当たり約86件もの住宅が被害に遭っていることがわかります。

- 外出時は必ず施錠する習慣を

- 侵入犯罪防止ポイント

留守かどうか確認されやすいか、侵入しやすい家かどうか、犯行後逃げやすいか

- 侵入に要する時間は五分かかれ目

- 日頃のご近所づきあい

自転車の安全利用

- 自転車の交通事故対策

自転車は車両の仲間、自転車用ヘルメット、保険加入

- 自転車盗の防止

短時間でも鍵

ひったくりの防止

ひったくり犯は、人通りの少ない場所を狙って犯行に及びます。犯人は背後からオートバイなどで近づき、強引にバッグなどをひったくります。

- ひったくり防止のポイント

バッグは車が通る反対側に持ちましょう

歩きながらのスマホやイヤフォン等で音楽を聴くことは注意がおろそかになります。

防犯ブザーや、警察に通報

自転車のかごに「ひったくり防止カバー」を装着しましょう。

● 暴力の追放

人々が安心して仕事をし、レジャーで楽しみ、生活する…安全はそのための必須条件です。安全を驚かすものが暴力です。そして暴力を防ぐのは、地域の人々の団結です。

- 民事介入の暴力

暴力団を恐れない、金を出さない、利用しない、交渉しない。